



R8.7.1
ほしぐみ

今年の梅雨は雨や曇りの日が続きました。子どもたちは、外を眺めながら「今日はくもりだからプール入れる？」
「今日は水遊びができる？」と、水遊びができる日を楽しみにしているようです。今月は、天気の良い日はこの時期なら
ではの水遊びを思う存分、楽しんでいきたいと思えます。水遊びの期間中は、水遊び用の衣類の準備、連絡表に体温、
○✕の記入などご協力お願いいたします。



友だちへの興味ができました ♪

ほし組では、様々な遊びの中で、**友だちと関わる姿や一緒に過ごす姿**が増えてきました。先日は、おやつあと、
ままごとコーナーにただ座っている子がいました。「何しているのかな」と聞くと「〇〇くんとままごとをするの。待
っているの」と・・・相手の子がおやつを食べ終わると、「待ってたよ。一緒にままごとやろう」「うん。いいよ」と遊
び始めていました。微笑ましいエピソードです。他にも「かして」「い〜れ〜て〜」「一緒にやろう」という声が多数聞
かれるようになってきています。友だちに関心を持ち、関わりたい気持ちが育ってくる時期に入ってきたのだと感じ
ています。



しかし、2歳児は、まだ自分の気持ちを整理して言葉で伝えることが難しい時期でもあります。その一方で、友だち
と遊びたい気持ちが芽生え、子ども達の思いや感情も少しずつ複雑になっていきます。

友だちと関わりの中では、「かして」「やだよ」「いれて」「だめだよ」と、思うようにいかない場面もあります。その
ようなときは、自分の気持ちと相手の気持ちがぶつかり、強い口調になったり行動で伝えようとすることもあります。
そのような場面では、一人ひとりの気持ちを大切に受け止め、共感しながら、言葉で伝える練習をしています。

例えば ①お友だちにおもちゃを貸してもらえず、悲しい気持ちになっている子には、「使いたかったんだね。
でもね〇〇くんはまだ使いたいみたいよ。」と相手の気持ちを言葉にして伝える。

②玩具が使いたくて手が出そうになったときには、「玩具を使いたいのかな。そのときはなんてお話しした
らいいかな」と声をかけ、自分で言葉にして伝えられるよう促す。などです。

このようなやり取りを繰り返すことで、子どもたちは少しずつその場に合った言葉を覚え、自分の気持ちを言葉で伝
えようとする姿が見られるようになります。また、少しでも言葉で伝えることができたときには、「言葉で伝えられて
よかったね!」「とってもすてきだったよ!」と認め、たくさん褒めるようにしています。褒められると、「にっこり
(*~*)」子どもたちもうれしそうです。自分の思いややりたいことを言葉で伝えられたという成功体験を積み重ねるこ
とで、「友だちと一緒に遊ぶことが楽しい」という気持ちが育ち、遊びもさらに広がっていきます。

これからも、子どもたち一人ひとりの思いに寄り添いながら、「友だちと遊ぶことって楽しい」と感じられるよう支援
していきたいと思えます。



7月・8月の予定

7月9日(木) 避難訓練	8月3日(月) 避難訓練
14日(火) 身体測定	17日(月) 身体測定



9月1日(火)
防災引き取り訓練があります。警戒宣言発令を想定
した訓練です。
ご協力お願いします。詳細は後日お知らせします。